

高議第 14 号議案

道路の整備の実施を求める意見書

上記の議案を裏面のとおり、本庄市議会会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和7年8月18日

提出者	明るい未来への道委員会	
委員長		久保田 海音
副委員長		小池 羅夢
委員		高野 來嬉
同		川崎 綾緒
同		本藤 瑞希
同		清水 千陽
同		黒田 若菜

本庄市議会高校生議会議長

早稲田大学本庄高等学院 齊藤 優舞 様

意見書（明るい未来への道委員会）

当委員会の所管事項に関し、高校生の視点から、以下の項目について提案するものです。

記

本市内の通学路や生活道路の一部では、舗装が老朽化し、ひび割れや凹凸が目立つ箇所が見られます。

その結果、自転車での通学時に転倒する危険や、高齢者や小さな子どもの歩行時の安全確保に支障が生じています。

また、横断歩道の白線が薄くなって見えにくくなっている箇所もあり、歩行者の安全を守る機能が十分に果たされていません。

通学路を含む道路を安全に利用できるようにすることは、事故防止と安心して暮らせる環境づくりに直結する重要な課題です。

よって、本市において以下の施策を検討・推進するよう強く要望します。

- 1 通学路や生活道路における舗装状態の定期点検の強化
- 2 ひび割れや凹凸など危険箇所の早期補修
- 3 横断歩道や路面標示の定期的な塗り直し
- 4 舗装改善にあわせたバリアフリー化の検討

以上、意見書を提出します。

令和7年8月18日

本庄市議会高校生議会